

今回をもって本ジャーナルの編集委員を退任いたします。したがって、これが私にとって最後の編集後記となりました。2016年就任以来、本ジャーナルの編集委員として、私自身多くの勉強をさせていただきました。

この8年の間にはいろいろなことがありました。このジャーナルに関していえば、コロナパンデミックのため発刊が滞り、多くの読者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたこと、編集委員の一人として深くお詫び申し上げます。幸いにも現在正常に復しつつあり、編集委員長はじめ編集委員および三輪書店の皆様方のご尽力に感謝いたします。

この間にあった制度的に大きなこととしては、日本脊椎脊髄病学会（整形外科医中心）と日本脊髄外科学会（脳神経外科医中心）が合同で10年以上にわたり取り組んできた脊椎脊髄外科専門医が2022年ついに日本専門医機構に認定され、2023年の4月からカリキュラムがスタートしたことが挙げられます。この制度により土台の違う両科がお互いの意見を率直に交換することが促進され、それによって脊椎脊髄外科分野がますます広範囲の概念、技術を包含しながら発展していくことを願っています。

このジャーナルの特徴は、脳神経外科医、脳神経内科医、放射線科医、整形外科医がそれぞれの視点から、1つの病態や治療法を眺めるところにあります。そういった意味では創刊当時から時代を先取りしており、読者の皆様に新しい知見だけではなく、見方の異なるさまざまな考えを提供し続けてきました。

今回の特集の頭蓋頸椎移行部は、まさに多様性に満ちた部位といってもよいでしょう。解剖の独自性、脳に近いための独特の神経症候、手術においては椎骨動脈や静脈叢の存在、術後嚥下障害の危険性など、一般的な頸椎手術とは趣を異にしており、難易度も高く、特有のピットフォールもあります。まさに、multidisciplinaryな考え方やアプローチがぴったりのテーマではないでしょうか。

この特集をご堪能いただくとともに、これからも本ジャーナルで幅の広い知識や考え方を身に着け、各々の診断・治療技術を磨いていただければ幸いです。読者の皆様、長きにわたりありがとうございました。

（根尾昌志）

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 金田清志 小柳知彦
田代邦雄 国分正一 服部孝道

編集委員

山崎正志（編集委員長）
亀山 隆 園生雅弘 高橋敏行
高見俊宏 筑田博隆 永島英樹
中村雅也 根尾昌志 原 政人
飛驒一利 堀 正明 松山幸弘
安原隆雄

Vol. 37 No. 4

（2024年5月16日発行）

毎月1回25日発行

1部定価（本体2,500円＋税）

（配送料別）

年きめ予約購読料 33,300円＋税

送料弊社負担

発行／株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

（担当：山岸）

印刷所／三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所／

（株）文栄社

TEL 03-3814-8541

（株）ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2024,
Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。